

発行：堺アートカウンシル（堺市文化観光局文化部文化課内）

発行日：2023.3.30（不定期に発行） お問い合わせ：bunka@city.sakai.lg.jp

視察レポート | おおとり狂言之会

「古典伝統芸能の狂言を楽しもう！」



2月の土曜日、堺能楽会館での「第18回狂言之会」に伺いました。シニアの方々を中心に構成される「おおとり狂言之会」が、日頃の稽古の成果を公開することで、地域住民にも狂言に親しんでもらいたいと開催しています。受付で配布されたプログラム冊子を見ますと、各演目のあらすじと簡単な解説があり、興味が湧いてきます。「面白いところも、失敗も笑ってください」という講師による開演の挨拶に続いて、公演が始まります。狂言は、古今東西変わらない人間の滑稽さや弱さに焦点があたった喜劇であり、口語調の台詞、大げさな仕草や声色が理解を容易にするので、客席からはすぐに笑いが起こります。さらに、舞台上で台詞が飛んでしまったメンバーに、役柄上は対立しているはずの相方が、小声で台詞を教えて助けたりするので、それがまた新たな笑いを誘います。

メンバーは全員60歳以上とのことですが、20分ほどの台詞と動きを頭にいれ、衣装をつけて演じるのは、身体的にもなかなかハードな活動と感じました。文化芸術活動というだけではなく、特にシニアの方々にとっては、健康づくり、体力づくりに資する面もあるだろうと実感させられる公演でした。

（2023年2月11日視察/令和4年度堺市文化芸術活動応援補助金採択事業）

視察レポート | 社会医療法人同仁会耳原総合病院

「『みんなで描こう、タバコのない健康な街へ』

作品公募展」

耳原総合病院にて開催中の「みんなで描こう、タバコのない健康な街へ」作品公募展を拝見しました。作品はエントランス待合近くの地域交流ゾーンに展示されており、とても日当たりがよく、待っている間ちらほらと作品を見ている方がおられました。

今回の公募展の応募数は25点。子どもから高齢の方まで幅広く参加があったそうです。作品は絵やポスターだけでなくエッセイや川柳などもあり、タバコの悪影響だけでなく、その匂いから懐かしい思い出を呼び起こすような作品もありました。作品は冊子としても配布され、2月下旬に南海電車の堺東・堺・三国ヶ丘・中百舌鳥駅にも展示されたそうです。

また、同病院は、健康増進活動拠点病院（HPH）として市民の予防医療にも取り組んでおられます。院内のエレベーターには禁煙のポスターが貼られていたのですが、お医者さんやスタッフの方がモデルとなり撮影に臨まれたそうです。



この事業による作品以外にも、院内ではさまざまな作品を見ることができます。担当者の方は「アートを通じて、患者さんのライフストーリーを知るきっかけになれば」と話しておられました。患者さんに寄り添う

ような作品に触れ、病院の今までのイメージがガラッと変わる体験となりました。

(2023年2月15日視察／令和4年度堺市文化芸術活動応援補助金採択事業)

視察レポート | 有限会社野間バレエ団

「～野間バレエ団プレゼンツ～『バレエを楽しもうinフェニーチェ堺2023』」



2月中旬、フェニーチェ堺大ホールで「～野間バレエ団プレゼンツ～『バレエを楽しもうinフェニーチェ堺2023』」が開催されました。毎年楽しみに来られている方もおられるようで、会場は開演前からすでに一体感があるように思いました。

プログラムの第1部は『白鳥の湖』のなかで一番テクニックが必要とされる黒鳥のグラン・パ・ド・ドゥ（主役級の男女2人の踊り）を皮切りに、青島広志さんによる『くるみ割り人形』の音楽解説、バレエ教師の方々によるマイム講座など盛りだくさんでした。マイム講座では隣の人にちょっと手があたったりしつつも、みんなで作ってみようという試みが面白かったです。第2部では『くるみ割り人形』の第2幕、お菓子の国の踊りをたっぷり鑑賞し、最後は作曲家であるチャイコフスキーの作風について、時代背景などから解説を聞きました。ダンサーのリズミカルな足音や衣装の擦れる音なども含め、バレエを音楽の視点から見ることで新たな世界を感じることができました。

(2023年2月19日視察／令和4年度堺市文化芸術活動応援補助金採択事業)

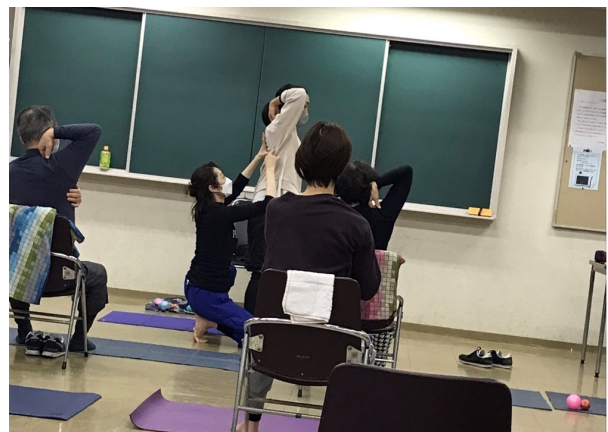
視察レポート | マノ・フラメンコ

「サスタナブル・フラメンコ」

フラメンコダンサーの柏麻美子さんが主催する、ボディケアとフラメンコ体験を織り交ぜた4回の講座のうち1回を拝見しました。フラメンコとボディケアを同じ日に取り交ぜるのではなく、それぞれ独立した内容で実施。この回はボディケアの回でゲスト講師、安地里恵さんによる身体づくりの基礎講座でした。会場は梅文化会館1階の研修室。

柏さんは脊柱管狭窄症のため一時、ダンスを中断していましたが自身の身体をケアしながら活動を再開した経緯があり、その経験がフラメンコとボディケアの講座に繋がっているとすることで単なる異なる分野の組み合わせ以上の説得力があります。ほぼ定員の13名の参加者が揃い講座が始まると、立ち方、バランスのとり方から始まり、大きな動きは無いものの普段意識しない身体の仕組みを意識したり、無意識な身体の癖に気付くことに注意した身体の動きをおこなったり、一見地味ながら身体に“効く”内容でした。

文化活動と並行して、あるいはそれ以前に、それに取り組むための、続けるためのボディケアを取り入れることは、長く、楽しく、無理なく続けるための講座としてユニークな視点ですし、健康にも寄与する文化活動として価値があるものだと思います。



(2023年2月24日視察／令和4年度堺市文化芸術活動応援補助金採択事業)

堺アーツカウンシルでは、堺市ホームページ、Twitterなどで、情報を発信しています。

ホームページ：堺市ホームページ (<https://www.city.sakai.lg.jp/>) 内。

画面右上「目的別検索」にて「堺アーツカウンシル」で検索。

Twitterアカウント：@SAC_sakaibunka



ホームページ



Twitter